

[テキストを入力]

[テキストを入力]

[テキストを入力]

2020年 運営報告書



[テキストを入力]

[テキストを入力]

2020 年度 決算報告

2020 年の決算については前頁の表の通りになっています。2020 年はコロナの感染により世界規模で非常に厳しい年になりました。ネパールでのコロナと子供たちの様子については次ページ以降をご覧ください。

厳しい情勢の中ですが TCP においては里親、月間、年間のサポーターの皆さまの会費は例年を少し下回る程度で推移しています。毎月、毎年のようにご寄付をいただけるということを今年は例年よりも強く感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。今年度は現地の加藤が日本に一時帰国するタイミングでの決算になったため、例年よりもひと月早く締め切る必要がありました。ですから今年だけはイレギュラーな形での決算となっています。具体的には 2020 年 2 月から 12 月 10 日の数字になっています。

サポーター収入の中では連絡が取れなくなり、ご寄付を頂けない状態の方も少しずつ増えています。社会の状況をみると仕方のないことだと考えています。今年になって始めた SNS などを活用して新しいサポーターの方々がもっと加わってくださることを願うばかりです。また、一時的にご送金いただけなかったサポーターの方もいつの日か復活してくださるようお願いしています。

任意の寄付は昨年同様にお 1 人に大きな金額をいただくことができました。また、他にもたくさんの方々からご寄付をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。新しく入居したギャムツェの里親になってくださった里親さんも長い間のウェイティングにも関わらず快諾をしてくださいました。ギャムツェについては後ほど紹介します。

その他、今年度は TCP が基金を得ることができました。認められた今年度の 100 万円の事業のうち半分の助成金を頂けるというものです。これは TCP の施設の充実と整備、パソコン、そして 2021 年に迎える新入児童のために使いました。

コロナの影響

世界的にコロナウイルス感染が拡大し始めた 2020 年、ネパールは 3 月 23 日から全ての公共機関、教育機関、国境閉鎖などインドと足並みを揃えてロックダウン（都市封鎖）に踏み切りました。6 月中旬まで完全なロックダウンをしていましたが、その後インドやドバイなどで出稼ぎをしているネパール人の帰国を認めるようになった頃から第一波の感染拡大がおき、再び長期にわたるロックダウンとなりました。9 月 9 日によりやく緩和措置がとられ、車両のナンバープレートの偶数奇数の交通規制等がありましたがそれも 12 月 17 日に解除されました。しかしながら現在も日本同様に不要不急の外出を控え極力ステイホームするように心がけています。



ネパールは GNP のうち観光業が 3 割、海外送金が 3 割なので大きな経済的影響を受けています。特に貧困層に大きな影響があり、ホームレスの増加、子供の労働、学費が払えない子供たちの学校退学、さら労働、仕事のない親のアルコール依存は高く、家庭内暴力や虐待、自殺が増えている現状です。格差の大きいネパール社会へネパール政府は一切手を差し伸べることもなくこの厳しい現実には経済が回復するまでは耐えていかなければならないようです。



観光業や輸出、飲食業は殆どが店じまいを強いられ、働いていた人たちはみんな村へ帰り、観光者が集まるタメル地区もすっかりシャッター街になってしまい街中から人影は消

え寂しい風景に変わり果てています。



学校がお休みになる

3月18日から学校がお休み入りましたが、塀の外へ外出禁止となっても TCP の子供たちはとても元気です。毎日世界平和と鎮魂の祈りをあげ、チベット語の勉強をし、食事の支度と後片付け、掃除、洗濯と次々と家事をこなし、大きい子供は小さい子の面倒をみて一丸となって厳しい環境の中を乗り越えました。

ギャムツェが入居

ギャムツェ、3才の女の子が3月から

加わりました。とてもシャイでなかなか言葉を読さないことに入居当初は心配しました。けれども年長児がよく面倒をみてくれたこともあり、今ではこんなにすてきな笑顔でとても元気に暮らしています。大きなもちゃんとも平気でじゃれあっています。



学校の授業がオンラインで開催される

学校側の体制が整い、オンライン授業が始まったのが6月です。開始当時にTCPが保有していたものだけではとても足りませんでした。しかもその中でまともにWi-Fiに接続できるのが2台。オンラインに使用を開始すると使用頻度が高いせいかすぐに故障して修理が必要でした。ほぼすべての学年に在籍する18名の子供たちに2台のパソコンでは授業を満足に受けられるはずはありません。ご寄付頂いた中古パソコンをどうにか日本から運びたいけれど人の行き来はおろか荷物すら郵送がストップされていました。郵送がストップされている事態は今でも継続中です。



彩の国埼玉国際協力基金への申請

解決策を考えているところへ彩の国埼玉国際協力基金の募集を知ったのが締め切り間際のことでした。例年倍率が高く、昨年その存在を知ったものの申請を躊躇していたのですが、今回は申し込まないわけにはいきませんでした。書類審査とプレゼンを経てどうにか採択されることになりました。実はパソコンに関しては例年厳しい基準があったのですが今年はコロナということで特別に許可を得ることができました。（といっても本当にパソコン購入代金が許可されるかどうかはまだ年度末の結論がでるまでわかりません。）

これから報告書を提出するので購入した2台のタブレットや2台のパソコンの代金のうち半分を基金が認可してくれることを願うばかりです。

詳細は彩の国埼玉国際協力基金ホームページ <https://sia1.jp/international/assist/> をご覧ください。

オンライン文化交流会

・8月には学研キッズフェスティバルの企画で日本・タンザニア・カンボジアとネパールの子供による文化交流会にオンラインでTCPの子供たちも参加させて頂きました。今までに異文化の子供たちと話すがなかったのでとても楽しかったそうです。



・11月にクラーク記念国際高等学校（校長は登山家の三浦雄一郎）の生徒さん達と日本語でオンライン文化祭に子供たち全員で参加させて頂きました。日本の高校生との交流の中で特に盛り上がっていたのはKポップやJポップの音楽の話だったそうです。



カンド

・TCPのリーダーをしてきているカンドは3月に10年生を優秀な成績で卒業し、8月には校長がインドで心理学博士を修めた心理学では有名なアクティブアカデミー・カレッジへ入学しました。（ネパールの教育制度では1～8年生までは基礎教育、9年～12年(カレッジは11年、12年)は中等教育、多くの学生は10年生を終えると日本の高校2,3年生に相当するカレッジに進学します)カレッジでは専門分野の基礎を習得し大学進学に備えます。カンドはジャーナリズムや心理学を専攻したいという希望に沿ってこの学校へ入学しました。コロナ禍での授業は9月からオンラインで始まり、12月20日から念願の通学が許されるようになり喜んで登校しています。カレッジは早朝から始まりるので、朝の6時には家を出てお昼には帰宅、午後はちびっ子たちのサポートをいってくれています。



インスタグラムと Facebook を開始、ホームページの刷新

このような状況で私たちにできることはなにか。常にそれを感じさせられる年でした。もっとサポーターさんと情報を共有したい、もっとたくさんの方に TCP を知っていただきご寄付をいただきたいという思いでインスタグラムや Facebook を開始しました。お時間があるときにはぜひいいね！をお願いいたします。この新設による新しいサポーターさんも少ないものの徐々に増えています。

さらにホームページは 10 年前の開設当初から時間の経過と共に現状にそぐわない部分もでてきたので、サポーターさんのお力もお借りして旧ホームページを大きく変えることなくリニューアルをしました。さらに英語のホームページも作りたいということで、有志のサポーターさんが快く素早く動いて下さり英語ページ用の翻訳も完成しています。現在新装リニューアルに向けて動いておりますのでもう少しお待ちください。

・ TCPチベタン・チルドレンズ・プロジェクトホームページ

<http://tcp-np.com/>

・ ブログ 子供たちも英語・日本語で更新

<http://tcpnp.blog9.fc2.com/blog-date-201910.html>

・ Instagram

https://www.instagram.com/tcp_staff/?hl=ja

・ Facebook

<https://www.facebook.com/TibetanChildrenProject>

ほぼ 毎日更新中！
ご登録をお願いします！

- ・ TCPチベタン・チルドレンズ・プロジェクトホームページ
- ・ tcp-np.com/
- ・ ブログ 子供たちも英語・日本語で更新しています
- ・ <http://tcpnp.blog9.fc2.com/blog-date-201910.html>
- ・ Instagram
- ・ https://www.instagram.com/tcp_staff/?hl=ja
- ・ Facebook
- ・ <https://www.facebook.com/TibetanChildrenProject>




現状（2021 年 1 月現在）

2020 年 12 月からは再度コロナ感染者の増加によるロックダウンが再開され、慣れっこになったとはいえ厳しい毎日が続いています。ネパール人は断続的に国外に航空機で許可があれば出国することはできますが、ネパールに入国することは禁じられたままです。

そのような状況下では TCP など海外からの援助がある施設は強く、送金は滞りなく行うことができました。最近発達した海外送金システムを用いてサポーターさんが快くお引き受けいただき、無事にネパールへの送金を完了することができています。

ネパールでは経済的に大きな打撃ではあるのはもちろんですが、空気は澄み渡り美しい山々が以前に増してよく見渡せるようになりました。ときにはみんなで空を眺めたりする時間も大切にしています。



スタッフだけではどうしても手が回らない部分はサポーターさんからのお申し出をいただいたり、こちらからお願いしてみたりと TCP の力はやはりみなさまの愛情で成り立っていることをさらにありがたく感じた一年でした。コロナの終息がいつかはわかりません。この報告書をご覧になってご意見やご協力、またはクレームでも構いません。フィードバックをいただければ幸いです。

2021 年度の課題

今後コロナ感染がどのように世界的に変化するかはわかりません。一日も早い終息を願うばかりです。ネパールにおける今後の展開はさらなる物価の上昇など経済状況の変化にも大きく影響するでしょう。TCP が今年、そして来年と安心して活動していけるようみなさまのあたたかなご支援を願うばかりです。

そして1月から2月に2名の新しい児童が入居予定です。今までは里親の待機リストがありましたが、今回は1名が不足する見込みです。里親を望まれる方がいらっしゃればぜひスタッフまでご連絡をお願いいたします。

